

決算説明会

2013年3月期

株式会社エフピコ

2013年5月10日

本資料取扱のご注意

本説明会のプレゼンテーションおよび配布資料に掲載する情報に関しまして、細心の注意を払っております。将来の予測等に関する情報は、現時点で入手可能な情報にもとづき、当社が判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本説明会の配布資料に掲載する情報は、無断での引用や転載、複製は禁じられております。

=目次=

◆ <u>実績報告 計画</u>	経理財務本部長	池上 功	3
◆ <u>中・長期目標へ向けて</u>	代表取締役会長	小松 安弘	13
◆ <u>企業規模拡大に向けて</u>	代表取締役社長	佐藤 守正	23
◆ 添付資料			33

実績報告

2013年3月期

経理財務本部長
池上 功

決算概要 (2013年3月期)

単位: 百万円	第4四半期累計 実績							第4四半期累計 計画		
	'12/3月期 実績	構成比	'13/3月期				数量	'13/3月期 計画	構成比	達成率
			実績	構成比	増減	前年比				
トレー	28,681	18.4	27,579	17.4	△1,102	96.2%	96.5%	29,660	18.0	93.0%
弁当・惣菜	76,842	49.4	80,660	51.0	+3,817	105.0%	105.4%	81,400	49.3	99.1%
小計	105,524	67.8	108,239	68.4	+2,715	102.6%	101.9%	111,060	67.3	97.5%
その他製品	7,566	4.9	6,845	4.3	△720	90.5%		7,740	4.7	88.4%
製品売上高	113,090	72.6	115,085	72.8	+1,995	101.8%		118,800	72.0	96.9%
包装資材	33,627	21.6	34,145	21.6	+518	101.5%		37,000	22.4	92.3%
その他商品	8,963	5.8	8,960	5.7	△3	100.0%		9,200	5.6	97.4%
商品売上高	42,591	27.4	43,106	27.2	+515	101.2%		46,200	28.0	93.3%
売上高	155,681	100.0	158,192	100.0	+2,510	101.6%		165,000	100.0	95.9%
営業利益	14,847	9.5	14,564	9.2	△282	98.1%		15,890	9.6	91.7%
経常利益	14,951	9.6	15,122	9.6	+171	101.1%		16,100	9.8	93.9%
当期純利益	8,093	5.2	8,846	5.6	+752	109.3%		9,420	5.7	93.9%

■ 販売

製品 > 価格競争を背景に、不採算取引から撤退したトレー容器が減収となった一方、軽量化・新デザイン容器等をはじめとする弁当・惣菜容器がカバー

出荷枚数 : 前年同期比101.9%に伸長
 トレー容器 : 再生材料を使用した「エフピコ エコAPETシリーズ」を拡販
 弁当・惣菜容器 : 耐寒・耐熱 発泡容器のマルチFP、
 軽量化製品の寿司・刺身容器が好調

商品 > 包装資材の取扱量が拡大、ピッキングセンター投資の効果が顕在化し始める

◇ 生産

生産性および品質の向上とともに、生産拠点の最適化を進める
 関東八千代工場においてPET2軸延伸製品の生産を開始

◇ 物流

需要に即した供給体制の構築、物流品質およびサービスレベルの向上、
 流通コストの削減を推進、物流ネットワークの拡充と整備を継続

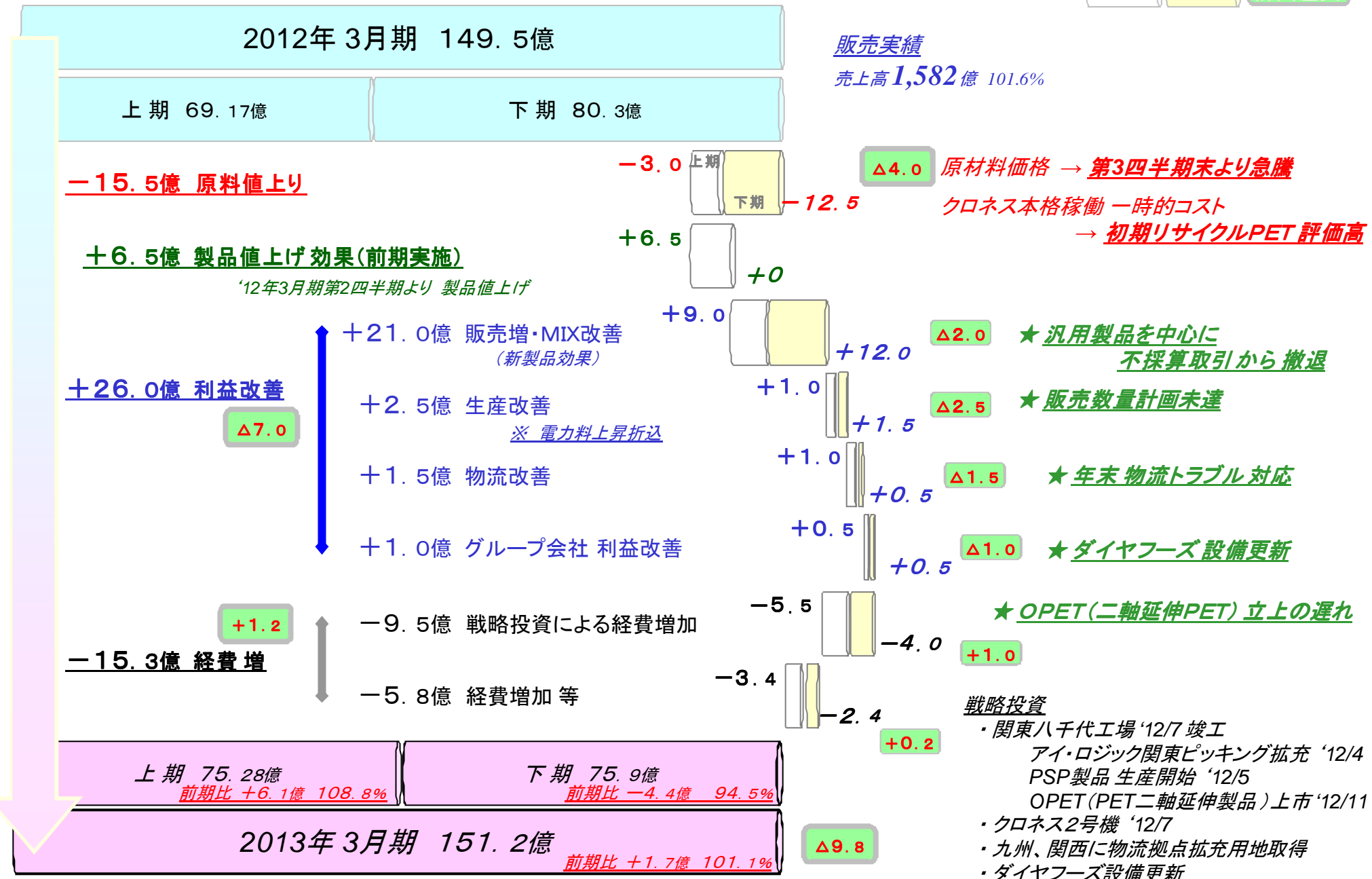
◇ 環境

回収量を拡大し地上資源の循環および障がい者の雇用を推進、
 再生原料メーカーとして原材料価格高騰へ対応

経常利益増減要因 (2013年3月期)

単位: 億円

上期実績 下期実績 計画差異



貸借対照表 (2013年3月期)

単位: 百万円	前連結会計年度		当第4四半期連結会計期間			
	'12/3月期 '12/3/31		'13/3/31	増減	'13/3月期 前年比	主な増減内訳
流動資産	72,310		73,843	+1,533	102.1%	受取手形及び売掛金 △877 商品及び製品 +1,935 原材料及び貯蔵品 +623
固定資産	93,654		98,416	+4,761	105.1%	有形固定資産 +4,849
資産合計	165,964		172,260	+6,295	103.8%	
流動負債	70,551		64,499	△6,051	91.4%	買掛金 △514 短期借入金 △1,638 未払金 △2,186 未払法人税等 △1,339
固定負債	25,210		31,078	+5,867	123.3%	長期借入金 +4,125 リース債務 +1,527
負債合計	95,762		95,578	△184	99.8%	
純資産合計	70,202		76,682	+6,479	109.2%	利益余剰金 +6,277
負債純資産合計	165,964		172,260	+6,295	103.8%	

- ◇ 資産 関東八千代工場、ピッキングセンター拡充(関西、九州)等の戦略投資により増加、将来の収益獲得に向け布石
- ◇ 負債 戦略投資の原資として長期借入金が増加、日銀新貸出制度の利用等により資金調達コストの圧縮を図る
- ◇ 純資産 経営体質の充実強化、および、事業拡大に向けての機動的な対応への備えとして内部留保の充実へ

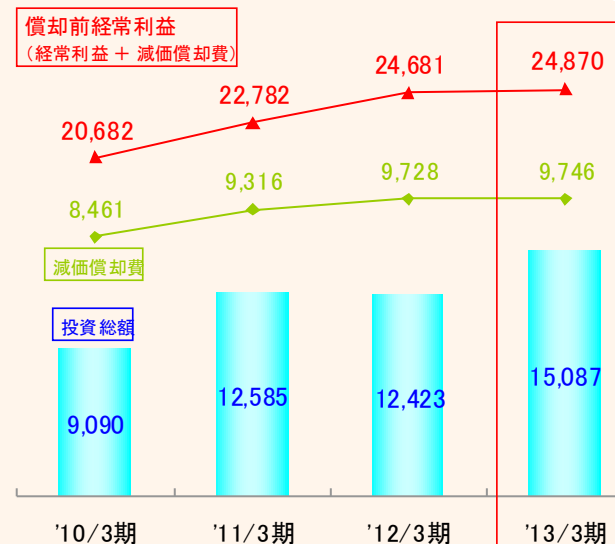
設備投資・研究開発費 (2013年3月期)

単位: 百万円	第4四半期累計 実績				第4四半期累計 計画	
	'12/3月期 実績	'13/3月期 実績		増減	前年比	'13/3月期 計画
有形固定資産	12,093	14,783	+2,690			122.3%
うち土地	(403)	(1,178)	(+775)	(292.2%)	(1,100)	(107.2%)
無形固定資産	329	303	△26	92.0%	400	75.8%
設備投資	12,423	15,087	+2,664	121.4%	14,500	104.1%
土地を除く設備投資	(12,019)	(13,908)	(+1,888)	(115.7%)	(13,400)	(103.8%)
設備費用	10,157	10,107	△49	99.5%	10,700	94.5%
うち減価償却費	(9,728)	(9,746)	(+17)	(100.2%)	(10,350)	(94.2%)
研究開発費	1,051	1,062	+11	101.1%	1,090	97.5%

※設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

主な設備投資

	単位: 百万円	投資総額	当期実績
◆ 関東八千代工場(関東新工場) 2012年7月 竣工		10,070	6,627
低層階: PSPおよび2軸延伸PET製品の生産工場、上層階: 物流施設			
◆ PETリサイクル工場設備			993
(PET効率的リサイクルプラント2号機 2012年7月 稼動)		690	
◆ 物流施設の整備			
九州物流拠点 2013年7月 稼働予定		1,890	313
関西物流拠点 2013年10月 稼働予定		4,600	1,361
◆ 金型			1,425
◆ IT投資			420



キャッシュ・フロー (2013年3月期)

	第4四半期累計 実績		
	'12/3月期 実績	実績	'13/3月期 主な内訳
営業活動によるC/F	16,240	15,806	税金等調整前当期純利益 14,794 減価償却費 9,746 仕入債務の減少 △ 477 売上債権の減少 790 たな卸資産の増加 △ 2,581 法人税等の支払 △ 7,137
投資活動によるC/F	△ 9,508	△ 13,076	有形固定資産の取得 △ 12,829
フリーキャッシュフロー	6,732	2,730	
財務活動によるC/F	△ 6,095	△ 2,579	借入金等の純増加額 2,575 リース債務の返済 △ 2,576 配当金の支払額 △ 2,571
現金及び現金同等物の増減額	636	150	
現金及び現金同等物の期末残高	13,909	14,060	

利益を背景に営業CFは堅調に推移、関東八千代工場(関東新工場)を始めとする戦略投資を実施するもののフリーキャッシュフローはプラス

計 画

2014年3月期

決算計画概要 (2014年3月期)

単位:百万円	通期実績		通期計画				上期計画			
	'13/3月期		'14/3月期				'14/3月期			
	実績	構成比	計画	構成比	増減	前年比	計画	構成比	増減	前年比
トレー	27,579	17.4	28,710	16.8	+1,130	104.1%	14,260	16.9	+465	103.4%
弁当・惣菜	80,660	51.0	90,250	52.9	+9,589	111.9%	44,480	52.6	+4,370	110.9%
小計	108,239	68.4	118,960	69.8	+10,720	109.9%	58,740	69.4	+4,836	109.0%
その他製品	6,845	4.3	6,980	4.1	+134	102.0%	3,380	4.0	+53	101.6%
製品売上高	115,085	72.8	125,940	73.9	+10,854	109.4%	62,120	73.4	+4,889	108.5%
包装資材	34,145	21.6	35,590	20.9	+1,444	104.2%	18,070	21.4	+615	103.5%
その他商品	8,960	5.7	8,970	5.3	+9	100.1%	4,410	5.2	+6	100.2%
商品売上高	43,106	27.2	44,560	26.1	+1,453	103.4%	22,480	26.6	+622	102.8%
売上高	158,192	100.0	170,500	100.0	+12,307	107.8%	84,600	100.0	+5,512	107.0%
営業利益	14,564	9.2	15,520	9.1	+955	106.6%	6,010	7.1	△1,403	81.1%
経常利益	15,122	9.6	15,600	9.1	+477	103.2%	6,120	7.2	△1,408	81.3%
四半期(当期)純利益	8,846	5.6	9,120	5.3	+273	103.1%	3,550	4.2	△843	80.8%

■ 販売

製品 > 原材料価格の上昇に対しては、原価に基づき製品価格の是正

出荷枚数 : 前期比104.8%伸長
 トレー容器 : 再生材料を使用した「エコトレー」・「エコAPET」を拡販
 弁当・惣菜容器 : 耐寒・耐熱 発泡容器のマルチFP、
 軽量化製品の寿司・刺身容器の販売増を見込む
 OPS透明蓋はPET2軸延伸透明蓋へ切り替え

商品 > グループの物流ネットワークを最大限に生かし、包装資材の取扱量を拡大

◇ 生産

生産性および品質の向上とともに、生産拠点の最適化を進める
 関東八千代工場においてPET2軸延伸製品の生産を本格化

◇ 物流

九州、関西の新拠点を稼働、衛生的で高品質な物流サービスを
 全国レベルで提供、引き続き物流ネットワークの整備を推進

◇ 環境

回収量を拡大し地上資源の循環および障がい者の雇用を推進、
 再生原料メーカーとして原材料価格高騰へ対応

経常利益増減計画 (2014年3月期)

単位: 億円

上期計画
下期計画



販売計画

売上高 **1,705** 億 107.8%

原材料価格 前期第3四半期末より急騰



原価に基づき 製品価格是正

- ・クロネス効果
- ・エコトレー、エコAPET拡販

新素材への移行

徹底した新製品提案

物流ネットワーク整備

鶏卵パック業界への取組み

戦略投資

- ・九州物流拠点7月稼働
- ・関西物流拠点10月稼働
- ・福山クロスドックセンター着工
- ・福山開発棟着工
- ・OPET押出2号機導入
- ・八王子に物流拠点展開

設備投資・研究開発費 計画(2014年3月期)

	通期実績	通期計画			上期計画		
	'13/3月期 実績	'14/3月期			'14/3月期		
単位: 百万円		計画	増減	前年比	計画	増減	前年比
有形固定資産	14,783	20,015	+5,231	135.4%	13,090	+2,546	124.2%
うち土地	(1,178)	(4,440)	(+3,261)	(376.6%)	(4,290)	(+3,113)	(364.7%)
無形固定資産	303	355	+51	117.0%	155	△4	96.9%
設備投資	15,087	20,370	+5,282	135.0%	13,245	+2,541	123.7%
土地を除く設備投資	(13,908)	(15,930)	(+2,021)	(114.5%)	(8,955)	(△571)	(94.0%)
設備費用	10,107	10,330	+222	102.2%	4,910	+33	100.7%
うち減価償却費	(9,746)	(9,960)	(+213)	(102.2%)	(4,720)	(+30)	(100.6%)
研究開発費	1,062	1,090	+27	102.5%	540	+10	102.0%

※設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

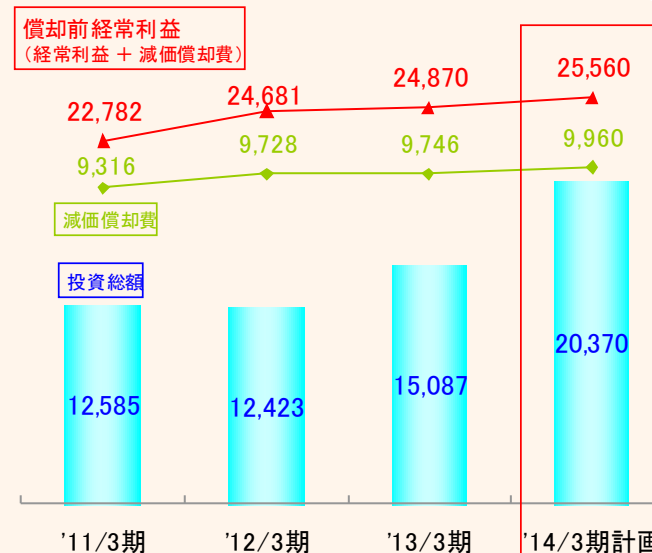
主な設備投資

単位: 百万円

投資総額

当期計画

◆ 透明容器設備の増設				1,160
◆ 関東第一工場リニューアル				900
◆ 物流施設の整備				
九州物流拠点	2013年7月	稼働予定	1,890	1,570
関西物流拠点	2013年10月	稼働予定	4,600	3,235
八王子物流拠点	2014年10月	稼働予定	9,490	4,770
福山物流拠点	2014年11月	稼働予定	4,400	1,750
◆ 金型				1,810
◆ IT投資				520



中・長期目標へ向けて

代表取締役会長
小松 安弘

連結決算のポイントと今後の見通し

≫ 好調な新製品販売

≫ 戦略投資

- ☆ '12.7 関東八千代工場 竣工
- '12.4 関東ピッキングC
- '12.5 PSP製品 生産
- '12.11 PET二軸延伸製品 上市
- ☆ 関西、九州に物流拠点用地取得
- ☆ ダイヤフーズ設備更新

≫ 地上資源循環への取組み

- ☆ '12.7 クロネス2号機 稼働
- ◇ '12.5 「エフピコエコAPETシリーズ」上市

≫ 汎用製品 価格競争

≫ 原材料価格 急騰

≫ 世界初の素材・機能

- ◇ MFP(マルチFP)販売増 → MSD(マルチソリッド) 拡販
- ◇ PET二軸延伸 透明製品 拡販
- ◇ 新 PP 透明製品 拡販
- ◇ 鶏卵パック製品 販売拡大

≫ 持続的な新製品投入

- ◇ 「エフピコフェア2013」効果

≫ 戦略投資

- ☆ '13.7 九州物流拠点 稼働予定
- ☆ '13.10 関西物流拠点 稼働予定
- ☆ 八王子 物流拠点用地 取得 '14.10稼働予定
- ☆ 福山クロストック 着工 '14.11 稼働予定
- ☆ 研究棟 建設

≫ 地上資源循環への取組み

- ◇ 「エフピコエコAPETシリーズ」拡販
- ◇ 「エコトレ」拡販
- ◇ クロネス効果

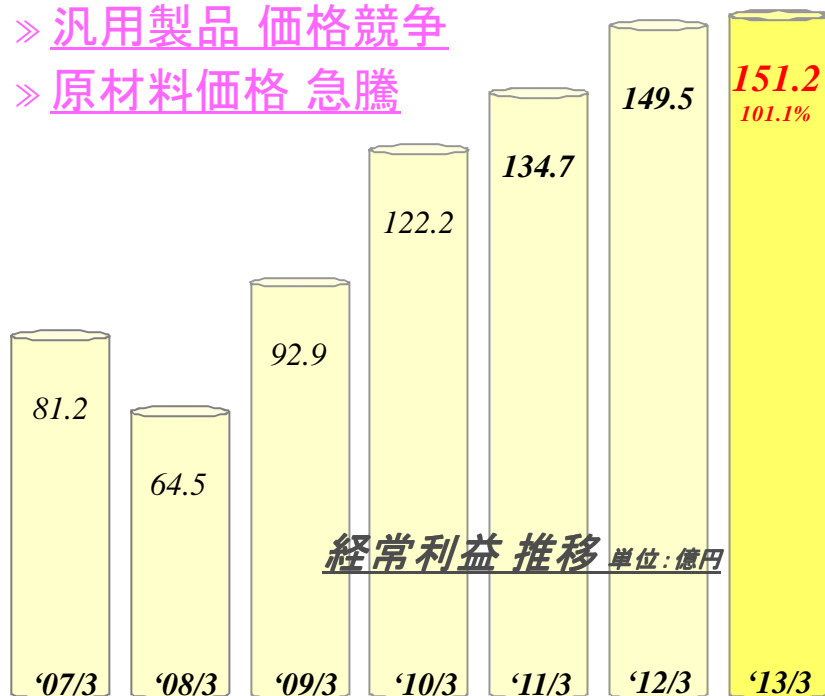
≫ 汎用製品 価格競争への対応

≫ 原材料価格 急騰への対応

≫ 徹底した社内改善

目標とする中期経営指標

1株当たり純利益 **450円**



販売計画

売上高 **1,705億** 107.8%

経常利益計画

156億 103.2%

設備投資計画

204億

'14/3

原材料動向

‘08年末より **急落**

‘09年中旬より **再度値上り**

‘11年初旬より **急騰**

‘12年末より **急騰**

製品価格へ **還元**

- ☆ 社内改善
- ☆ 軽量化・素材切替
- ☆ 販売拡大
- ☆ 新製品化

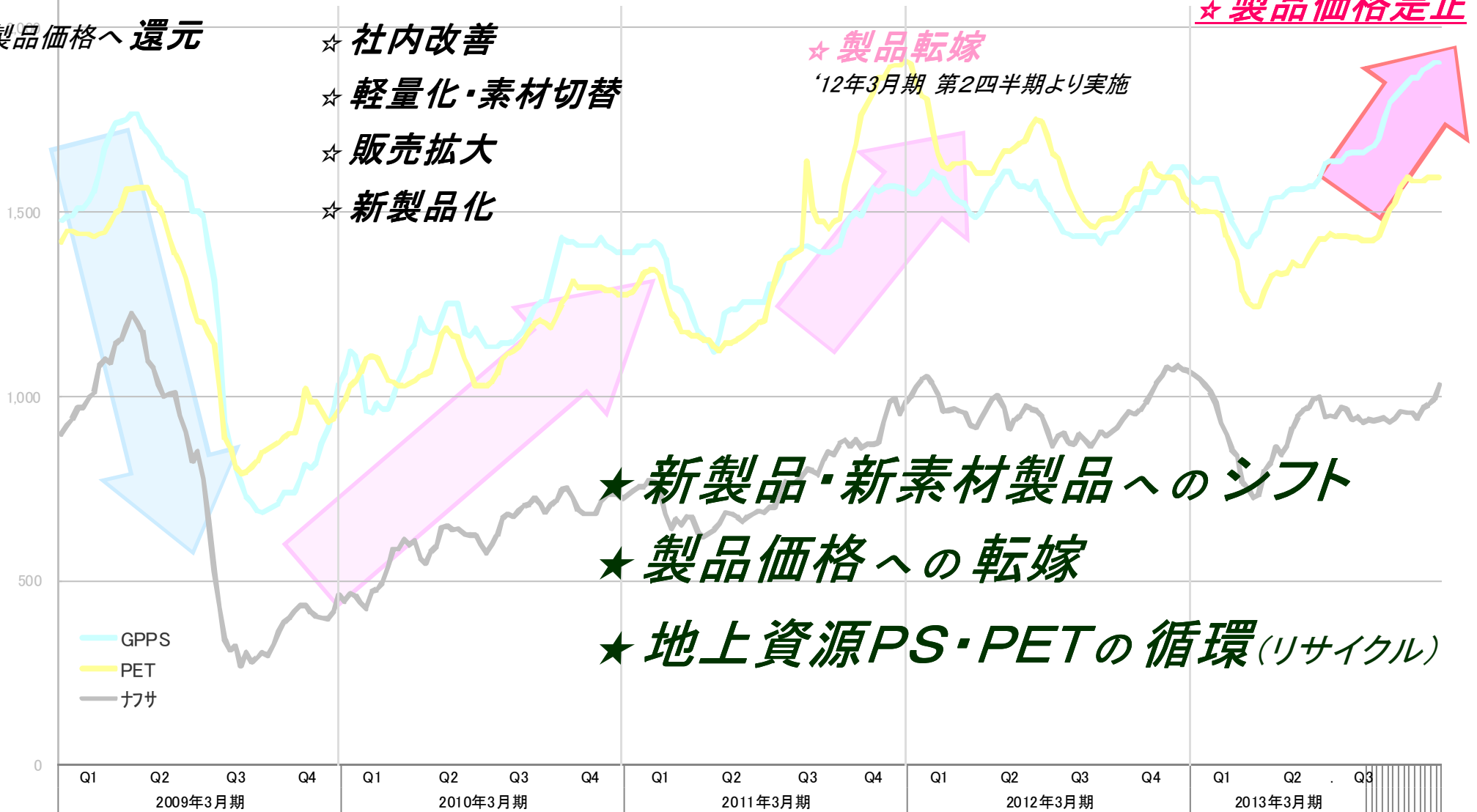
☆ **製品転嫁**
 ‘12年3月期 第2四半期より実施

☆ **製品価格是正**

★ **新製品・新素材製品へのシフト**

★ **製品価格への転嫁**

★ **地上資源PS・PETの循環(リサイクル)**



製品 5千億円マーケットでのシェア拡大

5つの新シート+αでシェア拡大



② 新PP透明 耐熱透明

耐熱: +120°C
透明度アップ: OPS並みを実現

① MFP (マルチFP)

広い温度帯をカバー -40°C ~ +110°C
断熱性

⑤ 新発泡PP (新HS)

1.8倍発泡 → 3.5倍発泡



③ OPET (PET二軸延伸) 透明

耐熱アップ: +80°C
シート厚みmm: 0.20~0.18



④ PET一軸延伸 透明

耐熱アップ: +70°C
シート厚みmm: 0.23~0.21
※従来0.32~0.30

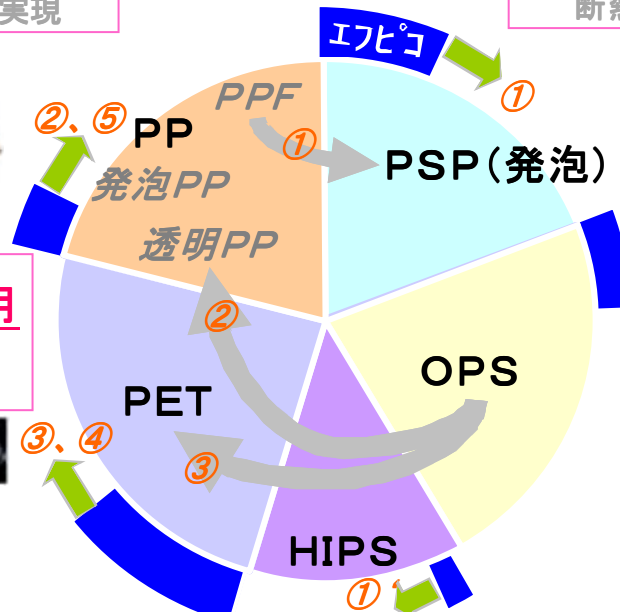
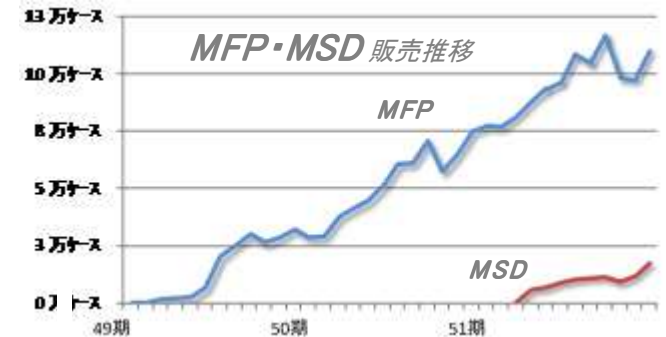


図: 素材別 シェア (重量ベース)

★ MFP端材の循環

→ ① 'MSD (マルチソリッド)



☆ 新マーケット

- ・ 農産物向け 容器・軟包装 (フィルム)
- ・ 食品加工メーカー向け 容器

④' 「エコAPET」



エピコフェア2013 開催 来場者13,000

2013年3月5日~7日 於東京国際フォーラム

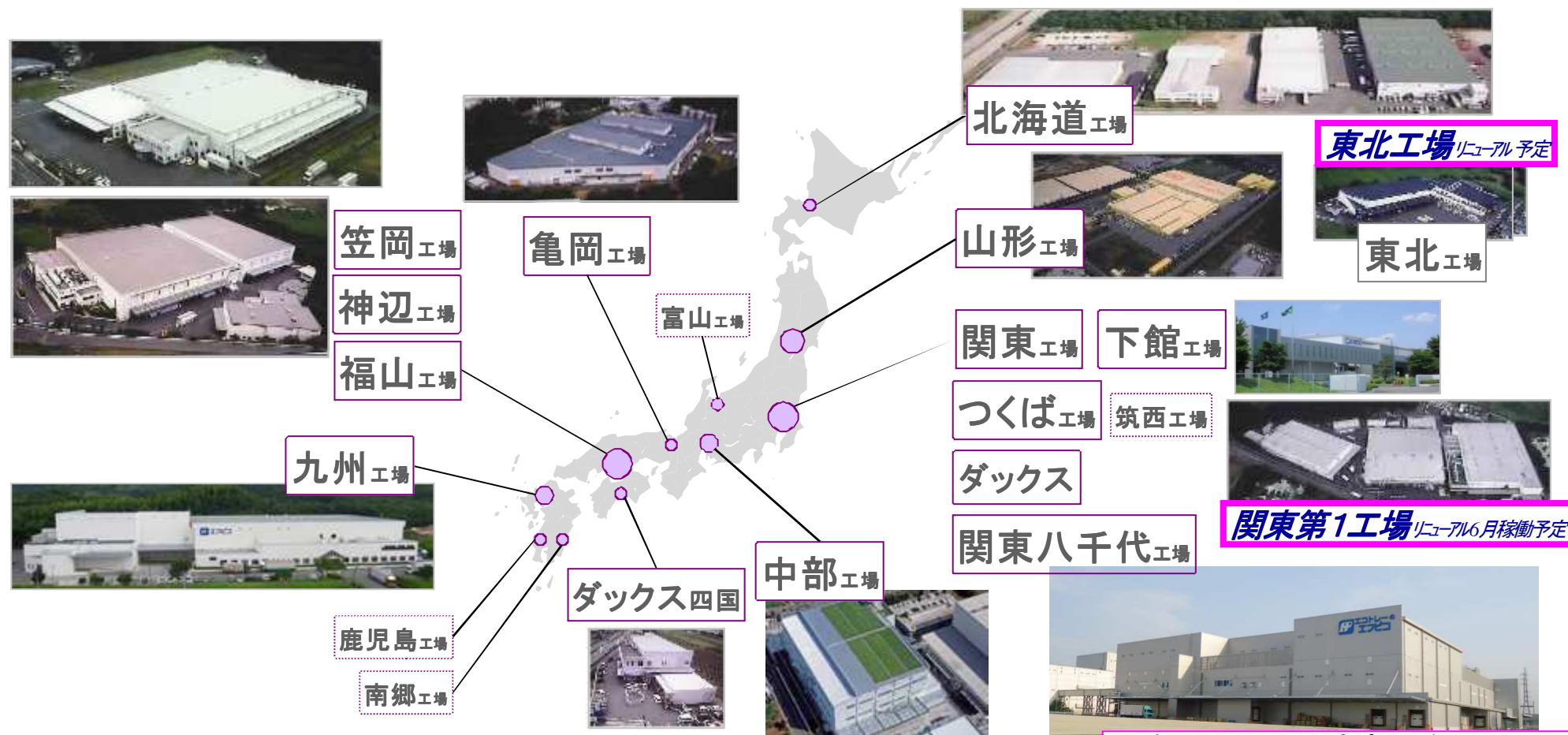
日本全国から即効アイデア盛り沢山

知恵と工夫百選

前期 2,000超品種の新製品を投入

生産

消費地近郊での生産供給体制

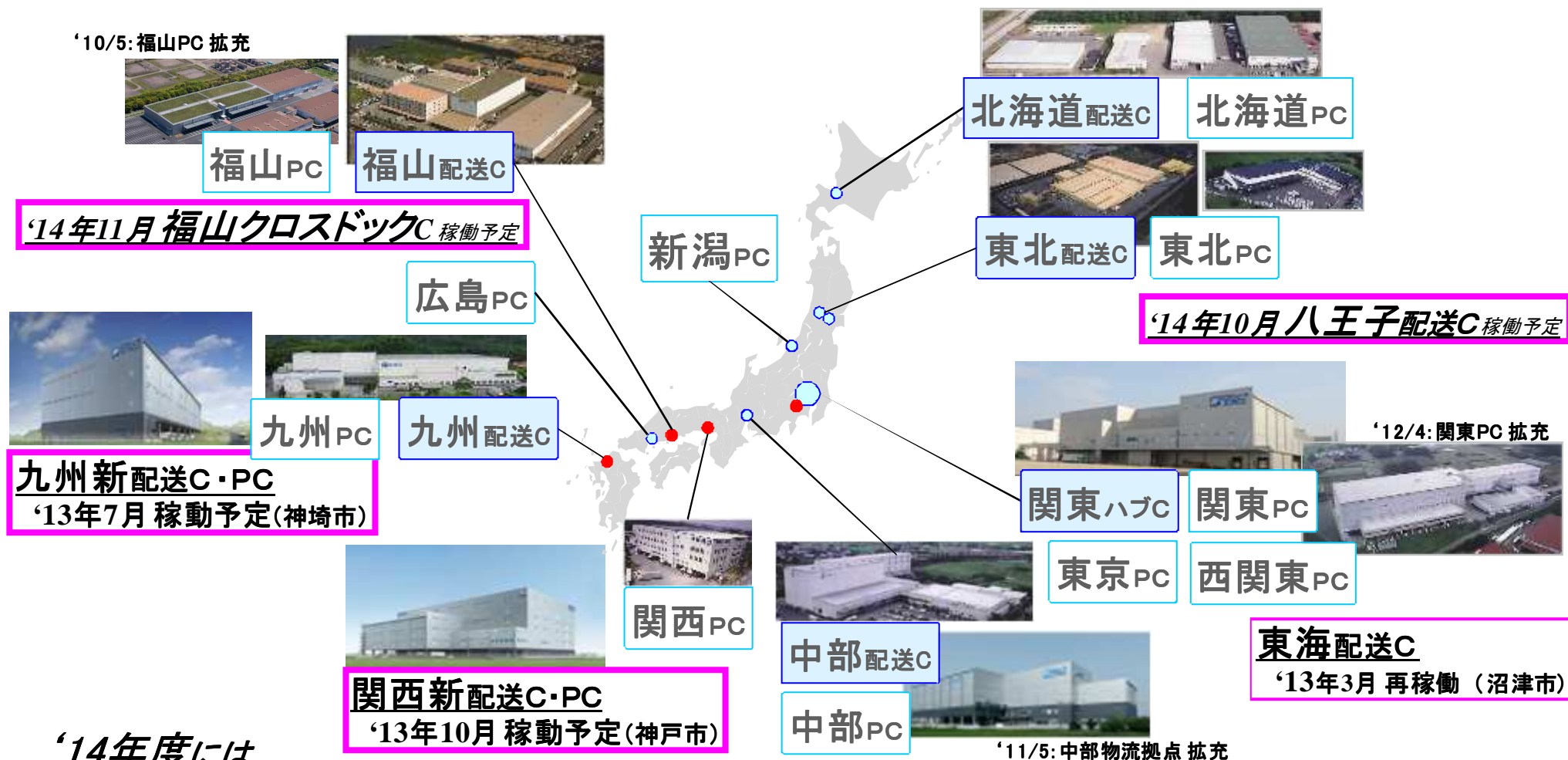


トータルで競争力のある製品作り、

販売増加への備え

‘12年 5月 PSP生産開始
‘12年11月 PET二軸延伸製品上市

全国をフルカバーする物流ネットワーク整備



'14年度には

★配送センター 8拠点: 13万65百坪

★ピッキングセンター 12拠点: 4万22百坪

計17万87百坪 東京ドーム12個分超の規模

リサイクル

環境と障がい者雇用が一体化した事業

‘13年3月期

8,400拠点から
使用済みトレ- 8,237トンを回収
PETボトル 3,081トンを回収

地上資源の循環

171億円のエコトレ-
エコAPETを販売



障がい者雇用数: **684** (雇用実人数403名)
(‘13年3月末)

・ 特例子会社

・ 就労継続支援A型事業所

雇用率 **16.1%**
(‘13年3月末)



「エコAPET」上市 (‘12/5)

「トレ- to トレ-」+ 「ボトル to トレ-」

回収量の拡大と回収率アップ

クロネス 1+2号機稼動で
2万2千トンの再生能力

生産コスト 100~110円/kg

設備投資

☆ 物流

- ・九州物流拠点 拡充 '13年7月稼働予定
- ・関西物流拠点 拡充 '13年10月稼働予定
- ・八王子物流拠点 新設 '14年10月稼働予定
- ・福山クロスドックセンター '14年11月稼働予定



☆ 生産

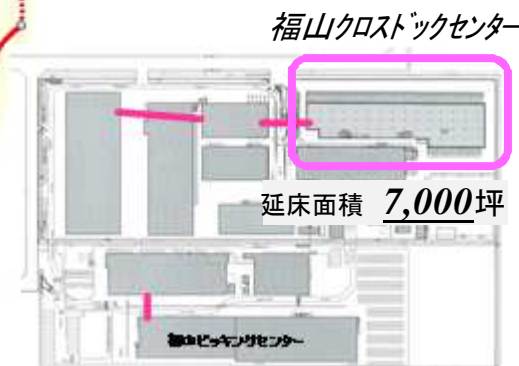
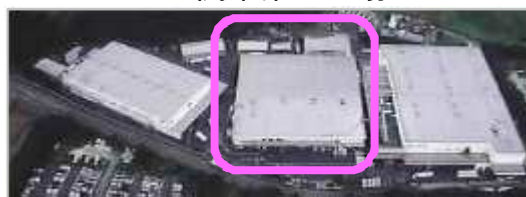
- ・関東第一工場 リニューアル '13年6月稼働予定
- ・生産設備

OPET押出しライン2号機 導入
(PET二軸延伸シート押出)

MFP・MSD生産ライン 増強

透明PP生産ライン 増強

PET生産ライン 増強



☆ 開発

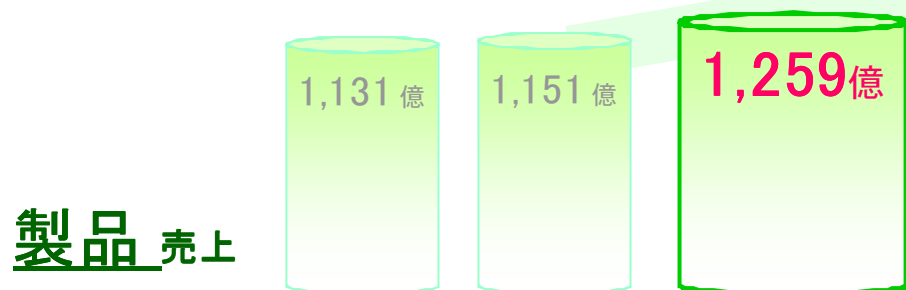
- ・『研究棟』建設

'14年3月期 設備投資計画 総額 **204億**

用地取得予定額 **41億**

中期目標

5千億円マーケットでのシェア拡大



- ☆ 世界初のシート・素材
 - ☆ 新マーケット創造
 - ☆ M & A
 - ☆ 持続的な新製品投入
- ◇ グローバルマーケット

経常利益率 12%



2兆円マーケットへの挑戦



- ☆ BtoB 取組加速
- ☆ 問屋サポート(インフラ活用)
共同仕入、共同配送

経常利益率 6%



売上高 1,557億 1,582億 1,705億

経常利益 149.5億 151.2億 156億

3,000億

300億

中期目標

	50期	51期	52期計画
設備投資	124億	151億	204億
減価償却	97.3億	97.5億	99.6億
償却前 経常利益	246.8億	248.7億	256億

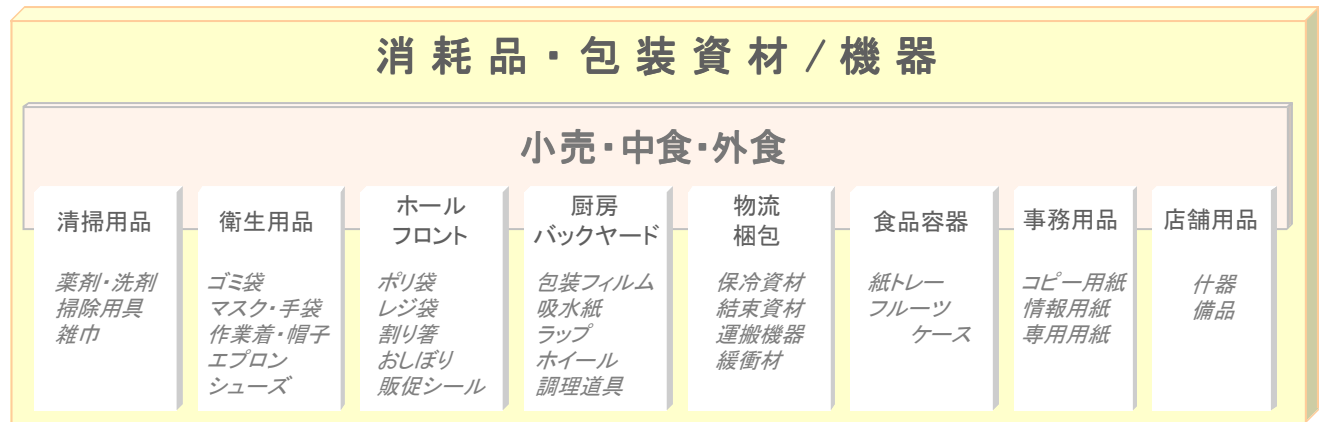
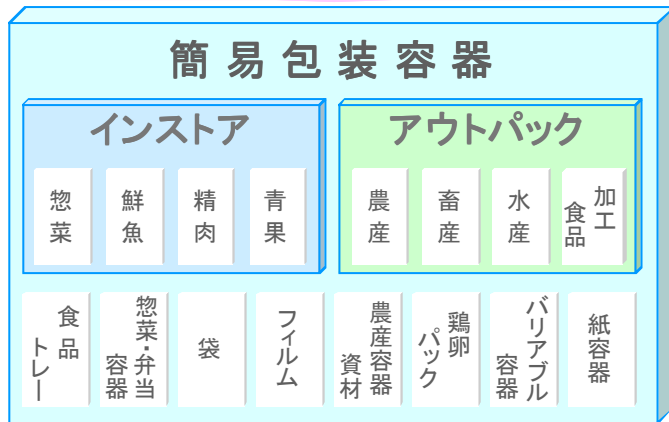
☆ 戦略投資

マーケットへの取り組み

＝ご参考＝

製品 市場規模: **5千億円**

商品 市場規模: **2兆円超**



得意分野での
優位性確立

新規分野の攻略

問屋サポート

事業提携・M&A

世界初の素材・機能

物流ネットワーク & SCM

エフピコ グループ

製品/素材力

提案力

調達力

物流力

環境経営

社会責任

インフラ

エフピコ商事

包装資材・消耗品 メーカー

企業規模拡大に向けて

代表取締役社長
佐藤 守正

世界初の素材・シート シート加工メーカーからの脱却

PP:ポリプロピレン

- ★ 耐熱性がある: +110°C
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 発泡が難しく、軽量化しにくい
- ★ コシ強度が低い
- ★ 耐寒性に劣る
- ★ 透明性が出難い



新PP透明

- ★ 耐熱性がある: +120°C
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 透明性がOPSと同等

PS:ポリスチレン



PSP:発泡ポリスチレン

- ★ 成型性が良い
- ★ 原材料比率が低い
- ★ 軽量化が可能
- ★ 断熱性が高い
- ★ 耐熱性が低い: +70°C
- ★ 耐油性に劣る



MFP:マルチFP :発泡ポリスチレン

- ★ 成型性が良い
- ★ 原材料比率が低い
- ★ 断熱性が高い
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 幅広い温度帯をカバー
-40°C ~ +110°C
- ★ コシ強度がある
- ★ 更なる軽量化が可能



PET:ポリエチレンテレフタレート

- ★ 最後発樹脂
- ★ 透明性が高い
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 耐熱性が低い: +60°C
- ★ 比重が大きい

OPET:PET二軸延伸

- ★ 透明性が高い
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 耐熱性がOPSと同等: +80°C
- ★ 延伸により軽量化が可能
- ★ 成型が難しい



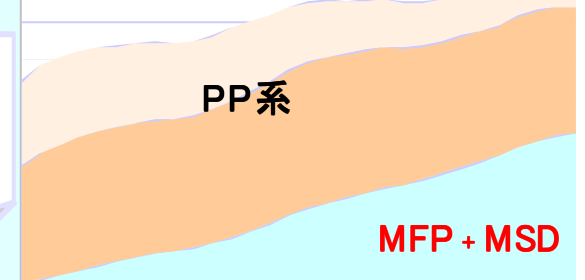
**MSD:マルチノド
:非発泡ポリスチレン**

OPS:延伸ポリスチレン

- ★ 透明性がある
- ★ 耐熱性: +80°C
- ★ 耐油性に劣る
- ★ 軽量化に限界

マルチFP端材の循環

耐熱容器本体 販売状況



※ 中央円グラフ:素材別シェア(重量ベース)

マーケットの状況

オーバーストアによる競争激化

ナショナルチェーンの地方進出

CVSの旺盛な出店

他業種(ドラッグストア・ホームセンター)からの参入

プライベートブランドの拡大

地方スーパーの優劣が更に進行

地方SMの淘汰

更なる合理化要請

インスタアからアウトパックへ

ロングライフ商品

地方問屋の経営悪化

物流合理化

Cランク品在庫削減

新技術

商品調達力

新製品開発

九州DC・PC 2013年7月稼働



■ 現センター

DC	床面積	6,800坪
	保管能力	130,000ケース
PC	床面積	1,600坪

■ 現DC借庫

DC	保管能力	60,000ケース
----	------	-----------

■ 新センター 3階建てDC

DC	床面積	5,000坪
	保管能力	110,000ケース

■ 現センター DC新センター稼働後PCを拡張

DC	床面積	5,400坪
	保管能力	110,000ケース
PC	床面積	3,000坪

返却

関西DC・PC 2013年10月稼動



● 物流拠点
● 生産拠点

■ 現センター

PC 床面積 3,800坪

■ 新センター 5階建てDC・PC

DC	床面積	3,200坪
	保管能力	70,000ケース

PC	床面積	7,800坪
----	-----	--------

■ 現センター 新センター稼働後DCへ変更

DC	床面積	3,800坪
	保管能力	50,000ケース

■ 現DC借庫

DC 保管能力 30,000ケース

返却

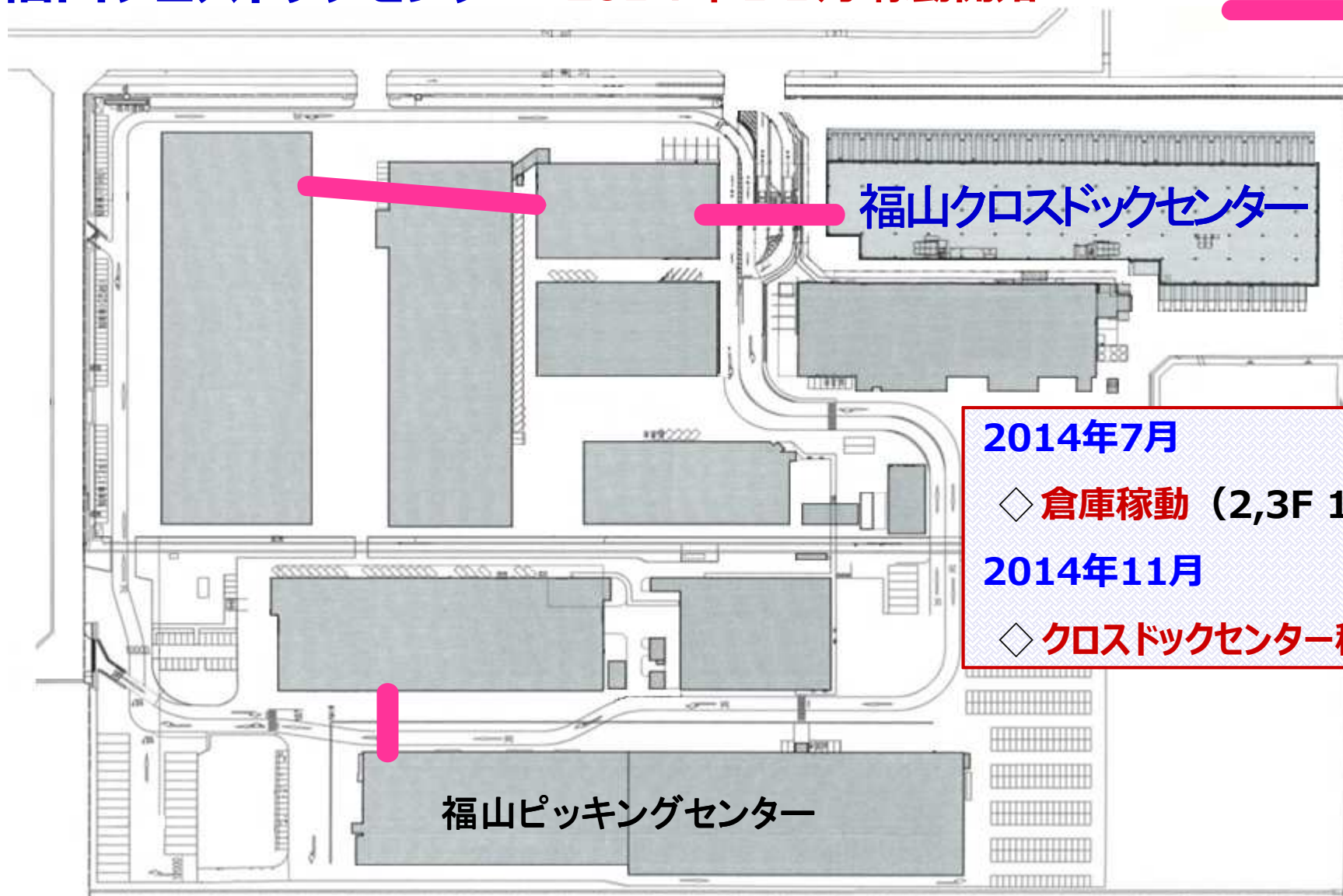
福山配送センターでの積み込み



物流ネットワーク整備 -3-2

福山クロスドックセンター 2014年11月稼動開始

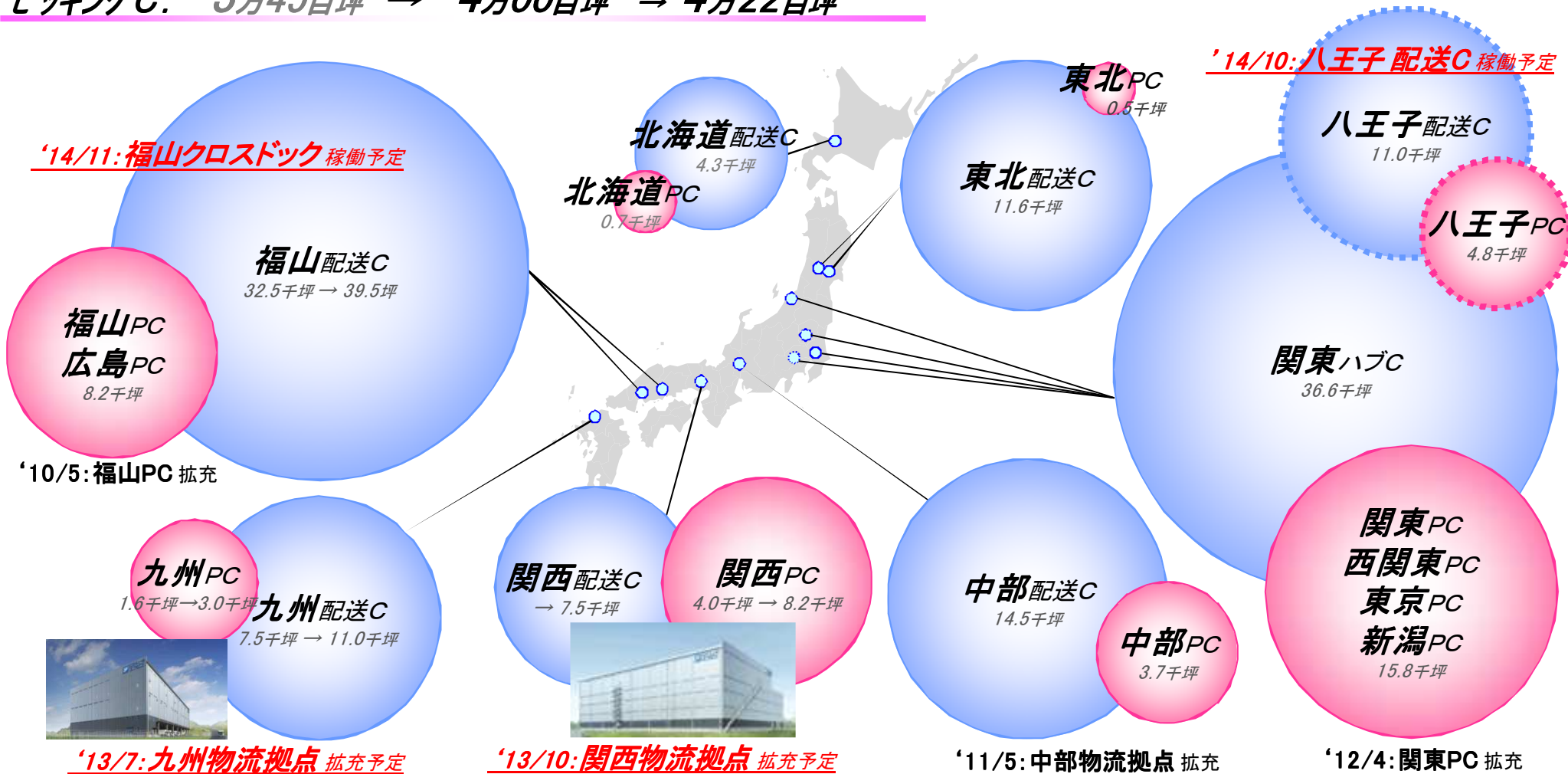
コンベアー接続



物流ネットワーク整備

高品質で効率的な物流サービスにより 全国をフルカバー

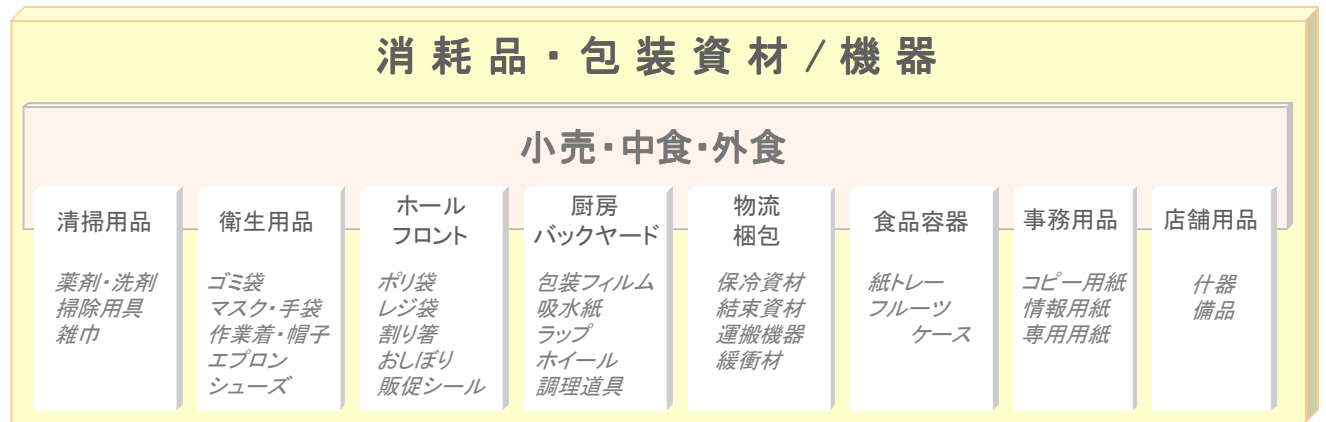
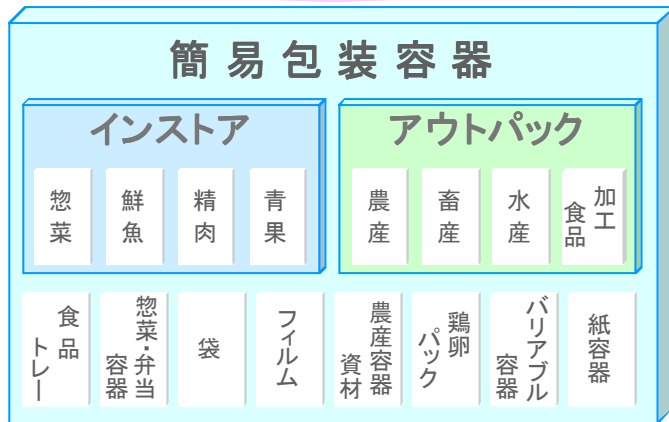
'13年3月 配送C: 10万75百坪 → '13年10月 11万80百坪 → '14年11月 13万65百坪
 ピッキングC: 3万45百坪 → 4万00百坪 → 4万22百坪



マーケットへの取り組み

製品 市場規模: **5千億円**

商品 市場規模: **2兆円超**



得意分野での
優位性確立

新規分野の攻略

問屋サポート

事業提携・M&A

世界初の素材・機能

物流ネットワーク & SCM

エフピコ グループ

製品/素材力

提案力

調達力

物流力

環境経営

社会責任

インフラ

エフピコ商事

包装資材・消耗品 メーカー

添付資料

施設見学のご案内

- ・ご都合の良い日時で見学いただけます
- ・見学時間: 約3時間
- ・受付: 経営企画室 児玉 03-5325-7756

中部施設見学

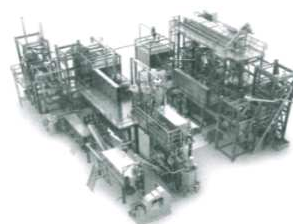
・最寄駅: JR東海 岐阜羽島駅

- ☆ 選別センター
・発泡PS容器 色選別
・透明容器 素材選別

- ☆ リサイクル工場
・PS容器リサイクル
・PET容器リサイクル、PETボトルリサイクル

- ☆ 配送センター・ピッキングセンター

- ☆ 生産工場
・PSP(発泡PS)製品生産



PETメカニカルリサイクルプラント

PETリサイクル



容器選別
PSリサイクル

中部ピッキングセンター
中部第2配送センター



関東施設見学

・最寄駅: JR東日本 古河駅

- ☆ 選別センター
・発泡PS容器 色選別
・透明容器 素材選別

- ☆ リサイクル工場
・PS容器リサイクル

- ☆ 配送センター・ピッキングセンター

- ☆ 関東八千代工場
・PSP(発泡PS)製品生産
・PET二軸延伸シート生産
・PET二軸延伸容器生産



関東ピッキングセンター
関東ハブセンター

リサイクル工場

関東八千代工場

最新鋭の生産～物流～リサイクルをご覧ください。

經常利益 增減要因 推移

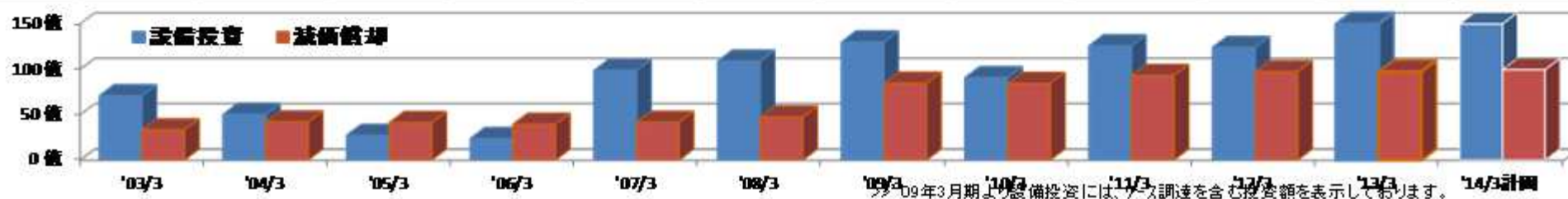
単位: 億円

	41期	42期	43期	44期	45期	46期	47期 '09/3			48期 '10/3			49期 '11/3			50期 '12/3			51期 '13/3			52期 見通し '14/3		
							上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期
前期 經常利益	63.1	28.6	33.6	36.3	66.5	81.2	32.0	32.5	64.5	39.2	53.7	92.9	60.1	62.1	122.2	68.3	66.4	134.7	69.2	80.3	149.5	75.3	75.9	151.2
原料値上り影響	-6.0	-13.8	-36.5	-10.0	-13.0	-39.5	-14.0	-23.0	-37.0	-25.0		-25.0												
							原料値下り			+44.0	+34.0	+78.0												
							原料再値上り			-6.0	-13.0	-19.0	-11.0	-12.0	-23.0	-19.0	-18.0	-37.0	-3.0	-12.5	-15.5	-18.0	-23.0	-41.0
製品値上げ	-25.0	+7.7	+29.2		+4.0	+9.0	+14.0	+24.0	+38.0	+25.0		+25.0				+10.0	+22.0	+32.0	+6.5	-	+6.5			
							第1次 製品値下げ			-24.0	-20.0	-44.0							製品価格は正			+8.0	+28.0	+36.0
							第2次 製品値下げ			-10.0	-9.0	-19.0												
販売増・Mix改善		+45.0		+17.5	+5.8	+3.0	+4.5	+2.5	+7.0	+3.0	+3.0	+6.0	+11.0	+10.5	+21.5	+7.0	+8.0	+15.0	+9.0	+12.0	+21.0	+1.0	+5.0	+6.0
素材切替・軽量化			+2.0	+8.0	+8.6	+11.8	+6.0	+18.5	+24.5	+14.0	+6.0	+20.0							新素材効果			+2.0	+6.0	+8.0
生産改善	+2.4	-0.6	-2.0	+6.0	+8.7	+3.0	+0.5	+2.0	+2.5	+4.5	+5.0	+9.5	+6.0	+6.0	+12.0	+5.5	+3.5	+9.0	+1.0	+1.5	+2.5	+1.0	+3.0	+4.0
物流改善	+0.3	-14.0	+12.2	+5.5	+8.0	+5.7	+1.8	+3.2	+5.0	+4.5	+5.0	+9.5	+4.0	+4.0	+8.0	+2.0	+2.0	+4.0	+1.0	+0.5	+1.5	+1.0	+2.0	+3.0
グループ会社 利益改善										+2.5	+2.5	+5.0	+2.0	+3.5	+5.5	+3.0	+2.0	+5.0	+0.5	+0.5	+1.0	-	+4.0	+4.0
美術品売却益			+1.0	-1.0			+4.0		+4.0	-4.0		-4.0												
経費増加	-6.2	-19.3	-3.2	+4.2	-7.4	-9.7	-9.6	-6.0	-15.6	-7.6	-5.1	-12.7	-4.0	-7.5	-11.5	-7.6	-5.6	-13.2	-8.9	-6.4	-15.3	-9.0	-6.0	-15.0
当期 經常利益	28.6	33.6	36.3	66.5	81.2	64.5	39.2	53.7	92.9	60.1	62.1	122.3	68.3	66.4	134.7	69.2	80.3	149.5	75.3	75.9	151.2	61	95	156

設備投資 研究開発費 推移

単位: 百万円

	'03年3月期	'04年3月期	'05年3月期	'06年3月期	'07年3月期	'08年3月期	'09年3月期	'10年3月期	'11年3月期	'12年3月期	'13年3月期	'14年3月期 計 西
生産	山形工場				下館第二工場 中部第二工場	九州第二工場		大洋興業 日本ハム容器 ウオ工場 フード加工設備 7&I7F	ダイワーズ			
物流	東日本ハブC 九州HC 関東HC				関東八千代C			新岡山PG	新中部PG			九州物流拠点 関西物流拠点 岡山ホストC 八王子C
リサイクル		北海道HC			中部・東北・九州リサイクル工場			容器運搬センター全国展開 洗浄ライン 設備刷新 中部リサイクル工場 新リサイクルネットワーク構築				中部 PETメカニカルリサイクル 物流ネットワーク整備
その他					東海HC建替	本社事務所 岡山地区土地・建替	岡山新工場土地 中部地区土地・建替	工力西事 イナバカ			九州物流拠点土地 関西物流拠点土地	八王子拠点土地
設備投資	7,096	5,037	2,742	2,394	9,885	10,909	13,007	9,090	12,585	12,423	15,087	20,370
有形	6,138	4,248	2,621	2,166	9,623	10,656	12,166	8,827	12,362	12,093	14,783	20,016
無形	968	789	120	228	362	254	841	263	223	329	303	356
内全額	780	460	436	560	771	609	1,892	1,607	1,833	1,946	1,426	1,810
減価償却	3,339	4,210	4,134	3,965	4,194	4,742	8,467	8,461	9,316	9,728	9,746	9,960
研究開発	654	628	689	751	895	913	965	1,035	1,101	1,051	1,062	1,090



※'09年3月期より設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

選別センター 9拠点

発泡PS容器 色選別ライン 白とカラーに手選別



<選別センター9拠点能力(常勤)>
 PSP:26ライン、10,600トン/年
 透明容器:13ライン、1,600トン/年

障がい者の就労

- ・発泡PS容器 色選別作業
- ・透明容器 整列作業

透明容器 素材選別ライン 近赤外線で素材選別 透明容器素材:OPS、PET、PP、PVC、クリスター、他



透明容器 整列

近赤外線素材識別

素材選別



回収



選別



- ・発泡PS容器
- ・OPS透明容器
- ・PET透明容器



減容



リサイクル工場へ

リサイクル工場 3拠点

選別センター



減容/移送

・発泡PS容器
・OPS透明容器

・PET透明容器

<リサイクル工場3拠点能力>
PS:5,000ト/年(常勤)
PET:20,000ト/年

リサイクル工場

温水+アルカリ洗浄

PS容器 リサイクルライン



1次洗浄
たんぱく質除去

2次洗浄
油分除去

すすぎ2回

脱水

溶融/押出



PSペレット



PETメカニカル リサイクルライン



PETボトル選別ライン

超洗浄装置

揮発成分除去装置

PETフレーク



171億円の販売
('13年3月期)

'12年5月
「エコAPET」上市



・PETボトル

PET透明容器でもリサイクル事業の確立へ

【 関東八千代工場 】

平成24年7月 竣工

3層 延14,500坪 建物 175m × 105m × 26m(高さ)

1階:生産施設 6,300坪

2階:ピッキング 3,500坪

3階:倉庫施設 4,500坪



↑ 既設棟とソーター接続



【 関東拠点 施設配置 】

